

日本政治学会 会報

The JPSA News

No.65

JUNE.2013

日本政治学会 2013年度研究大会について

2013年度企画委員長 小西 徳 應

本年度の研究大会は、例年より半月ほど早く9月15日(日曜)と16日(月曜・敬老の日)の2日間にわたって、北海学園大学(札幌)で開催されます。開催場所へのアクセスが便利で、北海道を訪れるのには最適なシーズンです。ぜひ積極的にご参加ください。

公募企画、公募セッション、自由論題、さらにはポスターセッションに多くの応募を頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。さらに研究交流委員会、国際交流委員会、企画委員会の皆様に感謝申し上げるとともに、開催校の佐藤克廣先生をはじめとする北海学園大学の皆様に感謝申し上げます。

次に研究大会の内容についてご報告します。公募セッションは独立した分科会が設置できるまでの人数が集まらなかったため、応募いただいた方々は、自由論題の分科会に入らせていただくことにしました。結果的に、12の公募企画、7つの研究交流委員会企画、4つの国際交流委員会企画、3つの企画委員会企画、これらを独立した分科会としました。別途、自由論題と公募セッションを合わせた24件をテーマごとに6分科会に分け、計32の分科会と1つの共通論題を設けました。さらにポスターセッションでは10件の報告がなされます。自由論題と公募セッションによる分科会を6つにして、自由論題の報告と討論にいくぶん時間的に余裕をもたせるようにしました。この自由論題に関して一つお願いさせていただきたい

ことがあります。1分科会あたりの報告数が減ったとはいえ、討論者として参加する企画委員がそれぞれの専門研究に対しカバーしきれないことが想定されますので、会員の皆様のご意見やご質問がその場で活発に出されることをお願い申し上げます。

各分科会もポスターセッションも、今年度はテーマに特に顕著な傾向は認められず、多岐にわたった問題をまんべんなく扱っていただいていると考えています。なお共通論題は「社会科学としての政治学の有効性」という、ある意味では広範な、また逆にピンポイントなテーマとしました。前年の企画委員長からの引き継ぎ事項であった「領域を横断するようなセッション」という課題を、共通論題で実現させることにしました。もちろん単に引き継ぎ事項というだけでなく、今日、社会があまりにも激しく動いているため、政治学に対する期待とある種の「失望」が渦巻いているのではないかとの思いや「危機感」からの企画です。それぞれ異なったアプローチをされている3人の方々からご報告いただくとともに、討論者としても3人の方に登壇していただき、多様な視点での活発な討論をしていただけるものと考えています。多くの参加者が刺激を受けられる企画になると期待しております。

末尾になりますが、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日本政治学会研究大会プログラム

第1日 9月15日(日)

10:00~12:00 分科会A(A1~A7)

A-1 現代日本における有権者・議員の投票行動に関する新たな規定要因の考察(現代政治過程研究フォーラム研究交流委員会企画)

司 会：石上泰州(平成国際大学)

報 告：岡田陽介(慶應義塾大学)・平野浩(学習院大学)「選挙・投票にまつわる有権者の政治的エピソード記憶」
三輪洋文(東京大学)「日本の有権者における保革イデオロギーの衰退とソフトニュース」

小島真一(神戸大学)「議場内投票行動の実証分析：採決をめぐる執行部と一般議員の相克」

討 論：境家史郎(東京大学)

谷口尚子(東京工業大学)

A-2 代表制の政治思想(公募企画)

司 会：小田川大典(岡山大学)

報 告：小林淑憲(北海学園大学)「ルソーの代表制論」(仮)

田畑真一(早稲田大学)「ハーバースの代表制論」(仮)

討 論：早川誠(立正大学)

A-3 現代日本の女性と政治指導—臨床政治学的考察—(研究交流委員会企画)

司 会：浅野一弘(札幌大学)

報 告：藤本一美(専修大学)「土井たか子と革新のリーダー」

折立昭雄(元鈴鹿国際大学)「嘉田由紀子—地方政治と国政のはざままで—」

討 論：広田まゆみ(北海道議会)

浅野一弘(札幌大学)

A-4 ヨーロッパにおける社会民主主義・保守主義の位相(仮)(企画委員会企画)

司 会：吉野篤(日本大学)

報 告：三澤真明(日本大学) イギリス

河崎 健(上智大学) ドイツ

討 論：荒井祐介(京都大学)

A-5 自由論題(政治と選挙)

司 会・討論：小西徳應(明治大学)

報 告：高橋善隆(跡見学園女子大学)「2012年米国大統領選挙における社会運動と投票行動—世代・所得・エスニシティによるグレイ対ブラウンの分断—」

八島健一郎(神戸大学)「選挙管理機関形態の決定要因」

金東煥(立命館大学大学院)「政権交代後の候補者選定過程の変容—自民党滋賀県連を事例に—」

粕谷祐子(慶應義塾大学)「一票の格差と司法府の役割」

A-6 自由論題(政治・政策過程)

司 会・討論：清水唯一朗(慶應義塾大学)

報 告：豊福実紀(東京大学)「日本における消費税増税をめぐる政党間対立の変容」

増永真(文京学院大学)「政治学の知見が「政策アイデア」となる可能性—日本の政策決定過程を事例に—」

根元邦朗(早稲田大学)「東アジアにおける責任政党政府モデルの登場：議員立法と人事任命パターン」

驛賢太郎(神戸大学)「官僚の専門性とキャリアパス—大蔵(財務)省の人事と組織を事例として—」

A-7 現代国際政治のモラル・アポリアー介入、民主化、国家主権(公募企画)

司 会：大庭弘継(南山大学)

報 告：小松志朗(早稲田大学)「人道的介入の非人道性：副次的被害と政治性」

杉浦功一(和洋女子大学)「民主化の

ジレンマ：どのようなデモクラシーを誰が]

高橋良輔（佐賀大学）「国家主権のアイロニー：3つのアポリアへの廻行」

討 論：押村高（青山学院大学）
土佐弘之（神戸大学）

乙部延剛（三重大学）

B-4 事前審査制の歴史的考察—自民党政権の意思決定システムの形成過程を中心に（仮題）（戦前戦後比較政治史研究フォーラム研究交流委員会企画）

司 会：河野康子（法政大学）

報 告：黒澤良（学習院大学）「議院制度改革史のなかの事前審査制—帝国議会から国会へ」（仮題）

奥健太郎（東海大学）「自民党結党前後の政務調査会—政府提出法案への対応を中心に（仮題）」

村井哲也（明治大学）「官僚機構による与党事前審査制への対応—自民党政権の前提条件に関する一考察」

討 論：牧原出（東京大学）

五百旗頭薫（東京大学）

第1日（15日）

13:20~15:20 分科会B（B1~B7）

B-1 日韓交流小委員会企画：韓国の安全保障と社会統合＊使用言語英語

司 会：宮本悟（聖学院大学）

報 告：李憲京（Hun-Kyung Lee）（東亞大
学校）「Security Needs in the Hierarchical Structure on the Korean Peninsula」

金南局（Nam-Kook Kim）（高麗大
学校）「Identity Crisis and Social Integration in Korea」

討 論：川上高司（拓殖大学）

岡部みどり（上智大学）

B-5 変貌する英米政治：大統領制化する議院内閣制、議院内閣制化する大統領制（公募企画）

司 会：上原良子（フェリス女学院大学）

報 告：渡辺容一郎（日本大学）「イギリス政治のアメリカ化とキャメロン保守党」

前嶋和弘（文教大学）「アメリカにおける「議院内閣制化」について」

菅原和行（釧路公立大学）「アメリカ政治の変貌と官僚制」

討 論：櫛田久代（敬愛大学）

上原良子（フェリス女学院大学）

B-2 「低投票率」を問題としてどうとらえるか（企画委員会企画）

司 会：小林良彰（慶應義塾大学）

報 告：小野耕二（名古屋大学）「低投票率現象への政治学的接近」

西川伸一（明治大学）「なぜ沖縄県民は国民審査を棄権するのか」

谷口尚子（東京工業大学）「投票参加に関する実証研究」

討 論：岡田陽介（慶應義塾大学）

杉田敦（法政大学）

B-6 多様化する多文化主義（公募企画）

司 会：早川誠（立正大学）

報 告：辻康夫（北海道大学）「多文化主義の複合的アプローチ」

西山隆行（甲南大学）「承認の政治と再分配政策—アメリカにおける社会福祉政策と人種政治の交錯」

飯田文雄（神戸大学）「脱出権理論の再検討」

討 論：網谷龍介（津田塾大学）

B-3 リベラル・デモクラシーの理想と現実 — ナショナルなもの代表をめぐって（公募企画）

司 会：田村哲樹（名古屋大学）

報 告：五野井郁夫（高千穂大学・国際基督教大学社会科学研究所）

山本圭（日本学術振興会特別研究員（PD））

鶴飼健史（早稲田大学）

討 論：山崎望（駒澤大学）

B-7 自由論題 (政治とメディア・世論、政治)

司 会・討論：谷藤悦史 (早稲田大学)

報 告：白崎護 (京都大学)「小泉首相と自民・民主各党への感情温度におよぼす対人接触とニュース視聴の影響」

鶴谷将彦 (立命館大学)「平成の大合併と民主党政権～合併自治体の8年目の試練」

清原聖子 (明治大学)「政治的主体としてのグーグルがアメリカのブロードバンド政策に及ぼす影響」

大村華子 (関西学院大学)「政治代表のメカニズムの分析—事例の比較検証を通して」

討 論：菊地端夫 (明治大学)

第1日 (15日)

15:40~17:40 共通論題

「社会科学としての政治学の有効性」

司 会：真淵勝 (京都大学)

報 告：杉田敦 (法政大学)

山口二郎 (北海道大学)

田中愛治 (早稲田大学)

討 論：三谷太一郎 (日本学士院)

小林良彰 (慶應義塾大学)

飯尾潤 (政策研究大学院大学)

18:00~20:00 懇親会 (於：生協食堂)

第2日 9月16日 (月)

9:30~11:30 分科会C (C1~C6)

C-1 国際交流委員会企画：Factors of Policy Change: Comparing Britain and Japan *使用言語英語

司 会：若松邦弘 (東京外国語大学)

報 告：伊藤修一郎 (学習院大学)「Inter-Governmental Relations in Japan: Policy Change through Policy Diffusion/Transfer」

高安健将 (成蹊大学)「The Centralised Core Executive vs Policy Communities in a Decentralised World」
Paul Cairney (University of Stirling)

「Comparing Policy Styles in the UK and Scotland」

討 論：山崎幹根 (北海道大学)

C-2 市民社会は平和をもたらすか—両義性の観点から

司 会：鈴木一人 (北海道大学)

報 告：三浦瑠麗 (東京大学)「シベリアンと戦争・平和—比較 (史的) 考察」

川島真 (東京大学)「中国における社会変化と東アジア秩序」

木宮正史 (東京大学)「日韓関係の行方—市民社会変動の観点から」

討 論：遠藤誠治 (成蹊大学)

C-3 戦後日本の政治変動と参議院選挙：市区町村別データに見合った分析方法の探求 (政治学方法論研究会研究交流委員会企画)

司 会：辻陽 (近畿大学)

報 告：名取良太 (関西大学)「55年体制と参議院選挙：混合効果モデルによる分析」

堤英敬 (香川大学)「参議院選挙における得票変動：階層線形モデルを用いた分析」

堀内勇作 (ダートマス大学)・梅田道生 (東京大学・日本学術振興会特別研究員 (PD))「衆院で勝つと参院で負ける：回帰非連続による分析」

討 論：根元邦朗 (早稲田大学)

菅原琢 (東京大学)

C-4 日中韓の市民社会と体制の相互関係 (公募企画)

司 会：恒川恵市 (政策研究大学院大学)

報 告：森裕城 (同志社大学)

大西裕 (神戸大学)

小嶋華津子 (慶応義塾大学)

辻中豊 (筑波大学)

討 論：恒川恵市 (政策研究大学院大学)

新川敏光 (京都大学)

C-5 自由論題 (政治史)

司 会・討論：小宮京 (桃山学院大学)
報 告：茶谷誠一 (成蹊大学)「象徴天皇制の
成立過程にみる政治葛藤—1948年
の側近首脳更迭問題より」
佐賀香織 (法政大学)「近代初頭のわ
が国における対外認識：新渡戸稲造
と『実業之日本』を中心に」
原田伸一 (国士舘大学)「協力内閣運
動と議会政治の擁護」
光延忠彦 (島根県立大学)「戦後都議
会の変容と東京都の自民党」

C-6 自由論題 (政治の概念)

司 会：眞壁仁 (北海道大学)
報 告：横地徳広 (弘前大学)「ショアのロ
ジスティクス—官僚アイヒマンの責
任を見えやすくする」
朝倉拓郎 (九州大学)「政治的信頼概
念の構築—政治思想史の観点から」
グットマン・ティエリー (三重大学)
「現代日仏米間の比較を通じた宗教
と政治の相互関係モデルの構築」
野口暢子 (長野県短期大学)「ベルリ
ンの区民投票」
討 論：高橋一行 (明治大学)

第2日 (16日)

13:00~15:00 分科会D (D1~D6)

D-1 日台交流小委員会企画：台湾政治学会との国 際交流セッション *使用言語英語

司 会：王業立 (台湾政治学会会長, 台湾大
学)
報 告：陳柏宇 (Dr. Boyu Chen) (中山大学)・
廖達琪 (Prof. Dachi Liao) (中山大
学)「The Internet: A Mobilization
Tool for the Peripheral Political
Agents—Reflection on Online
Political Participation Theories
Based on Characteristics of iVoter
Members」
童涵浦 (Dr. Hans H. Tung) (台湾大
学)・張佑宗 (Dr. Yu-tzung Chang)

(台湾大学)「Regionalism and East
Asians' Views on the Rise of
China」

討 論：前嶋和弘 (文教大学)
高原明生 (東京大学)

D-2 政権奪還と地方の政治学 (現代地方政治研究 会研究交流委員会企画)

司 会：白鳥浩 (法政大学)
報 告：浅野一弘 (札幌大学)「民主党はなぜ
負けたのか?：北海道の事例 (仮)」
照屋寛之 (沖縄国際大学)「自民党議
席奪還の構図 (仮)」
藪長千乃 (文京学院大学)「東京都知
事選と政権奪還 (仮)」
討 論：松田憲忠 (青山学院大学)
堤英敬 (香川大学)
丹羽功 (近畿大学)

D-3 第46回衆院選にみる有権者意識の分析 (日 本政治過程研究会研究交流委員会企画)

司 会：谷口将紀 (東京大学)
報 告：小林良彰 (慶應義塾大学)「有権者意
識の継続と変化」
山田真裕 (関西学院大学)「投票行動
と日本政治への評価」
飯田健 (同志社大学)「有権者のリス
ク志向とその政治的帰結」
討 論：伊藤光利 (関西大学)
平野浩 (学習院大学)

D-4 原子力をめぐる政治と現代デモクラシー (公 募企画)

司 会：堀江孝司 (首都大学東京)
報 告：尾内隆之 (流通経済大学)「福島原発
事故以後の原子力の統御とデモクラ
シー」
秋元健治 (日本女子大学)「日本とイ
ギリスにおける核燃料サイクル政
策」
本田宏 (北海学園大学)「抗議運動、
労働組合、政策対話—原子力をめぐ
るドイツの民主主義」

討 論：高橋進（龍谷大学）
小野一（工学院大学）

D-5 戦争指導の政治学（公募企画）

司 会：小野圭司（防衛研究所）
報 告：畑野勇（後藤・安田記念東京都市研究
所）「海洋安全保障政策と軍事評論
家・有識者—旧日本海軍の戦争指導
構想を事例として」
鈴木多聞（秀明大学）「日米戦争下の
昭和天皇と軍事情報」
討 論：相澤淳（防衛研究所）
大前信也（同志社女子大学）

D-6 「市民権」の変容とその機能：メンバーシ ップの変容をどうとらえるか（公募企画）

司 会：遠藤乾（北海道大学）
報 告：網谷龍介（津田塾大学）「市民権の変
容と福祉国家の再編（仮）」
佐藤俊輔（Université libre de
Bruxelles）「市民統合政策とヨー
ロッパ市民権（仮）」
Christian Joppke（Universität Bern）
「『軽い市民権』の生成と射程（仮）」
討 論：小川有美（立教大学）

第2日（16日）

15:20～17:20 分科会E（E1～E6）

E-1 国際交流委員会・企画委員会合同セッシ ョン：国際関係思想 *使用言語英語

司 会：城山英明（東京大学）
報 告：Felix Rösch（Coventry University）
「Realism as Worldview. Morgen
thau, Maruyama, and Modernity」
五十嵐元道（北海道大学）「Building
'Civil Society' in Dependent Terri
tories: Fabianism and Colonialism
in the 1940s」
討 論：荻部直（東京大学）

E-2 ミクロ政治経済行動（研究交流委員会企画）

司 会：猪口孝（新潟県立大学）
報 告：高橋泰城（北海道大学）「行動神経

済学をもちいたミクロ政治学研究へ
のアプローチ」

窪田悠一（新潟県立大学）・笹岡伸矢
（広島修道大学）「社会経済変動と民
主主義に対する市民の態度—ネパー
ル内戦を事例として」

徳田安春（筑波大学）「ミクロデータ
分析による予測モデリング～老人脆
弱化予測モデル」

討 論：藤本一美（専修大学）

E-3 政軍関係の国際比較—米、仏、日を中心に （公募企画）

司 会：平山実（防衛大学校）
報 告：菊地茂雄（防衛研究所）「オプシ
ョンをめぐる政軍関係—武力行使決定
における米国の文民指導者と軍人」
小窪千早（静岡県立大学）「フランス
の政軍関係—現状と特質」
小森雄太（明治大学）「政軍関係のあ
り方に関する一研究—統帥権独立か
ら文官統制まで」
佐藤智美（日本安全保障・危機管理学
会主任研究員）「東日本大震災にお
ける政軍関係の実相—政策補佐官を
中心に」
討 論：小野圭司（防衛研究所）

E-4 南欧における国民国家統合と欧州統合（公募 企画）

司 会：村上信一郎（神戸市外国語大学）
報 告：横田正顕（東北大学）
八十田博人（共立女子大学）
村田奈々子（一橋大学）
討 論：遠藤乾（北海道大学）
羽場久美子（青山学院大学）

E-5 20世紀の幕開けと日本人の国際情勢認識（公 募企画）

司 会：酒井正文（平成国際大学）
報 告：伊藤信哉（松山大学）「世紀転換期に
おける有賀長雄の対外認識」
澤田次郎（拓殖大学）「内田良平の北

東アジア政策論」

坂本健蔵（平成国際大学）「永井柳太郎と欧米-反欧米論の淵源」

討 論：安西敏三（甲南大学）

吉田博司（聖学院大学）

E-6 自由論題（国際政治）

司 会：岡本正明（京都大学）

報 告：千々和泰明（防衛研究所）「自主防衛／日米同盟」の代替パラダイムとしての「防衛力整備／運用」—「限定小規模侵略独力対処」概念を手がかりに」

澁谷朋樹（法政大学）「アラブの春」と民主主義：長期政権の崩壊から民主主義体制の構築へ」

杉之原真子（東京大学）「政治的リーダーシップと国際金融システムのガバナンス」

カロール・ジャコフスキ（ウッジ大学）「尖閣諸島購入をめぐる決定過程」

第2日（16日）

13:00～17:00 ポスターセッション：政治学のフロンティア F（F1～F10）

F-1 佐藤智美（日本安全保障危機管理学会）「大規模災害において国際連合は真に必

要な支援を提供できるのか？」

F-2 平山実（防衛大学校）「日本型PKOの形成、展開、展望—カンボジアから南スーダンまで」

F-3 大村啓喬（滋賀大学）「安全保障環境の変化と国内世論—戦後日本政治を例に」

F-4 橋本圭多（同志社大学大学院）「公的セクターにおける監査社会の病理-権威・権力・責任」

F-5 住吉主税（慶應義塾大学大学院）「全国紙・地方紙の比較内容分析」

F-6 北村 浩（公益財団法人政治経済研究所）「ソーシャルワーク的実践における規範的政治理論の可能性」

F-7 荒見玲子（東京大学）「新しい第一線公務員—要介護認定調査員の意思決定構造」

F-8 小野一（工学院大学）「ドイツ社会民主党におけるエコロジー思考の展開—党内オピニオン・リーダーの思想的軌跡を手がかりにした、政党政治研究再活性化の試み」

F-9 平井紳也（慶應義塾大学大学院）「利益団体による政策立案過程への影響」

F-10 築山宏樹（慶應義塾大学大学院）「地方議員の政策選好と選挙制度」

研究大会報告論文の公開・入手方式について

日本政治学会事務局

日本政治学会では、報告論文をウェブページ上に公開したうえで、ダウンロードにより会員が各自でご入手いただく方式を採用し、研究大会期間中の報告論文の販売は行なっておりません。これは、販売・頒布用の報告論文の印刷といった報告者をはじめとする方々の負担を軽減することを目的とした方式です。本年度も同様の方式を採用させていただきます。

なお、ウェブページを経由した報告論文へのア

クセスは会員の方々に限定させていただきます。準備が整い次第、会員の皆様には閲覧・ダウンロードのためのパスワードをお知らせいたします。また、報告論文の閲覧・ダウンロード期間は、研究大会期間をはさんでその前後約2週間ずつを予定しております。以上、今年度も皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

研究大会開催校（北海学園大学）からのお知らせ

日本政治学会2013年度大会・研究会は北海学園大学豊平キャンパスで開催されます。近年の授業回数確保の要請、並びに、北海道の気候により当大学の学園祭が10月に行われることから、通常の10月での開催は無理という条件でお引き受けいたしました。異例の9月15日(日)、16日(月・祝日)の開催となりますことをご理解いただきたいと存じます。

大会・研究会の行われる北海学園大学豊平キャンパスは、札幌駅から地下鉄で乗車時間5分と交通至便の札幌市営地下鉄東豊線「学園前」駅の上にあります(徒歩0分)。ただし、キャンパスは狭く、建物配置が複雑で若干のご不便をおかけすると思っておりますが、大会運営にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

① 参加申込

今回の大会・研究会ではハガキならびにインターネットによる事前参加申込は行いません。参加費、懇親会費は当日、現地の会場受付にてお支払いください。お釣りのないようご用意をお願いいたします。

② 宿泊

豊平キャンパス周辺には宿泊施設がありません。札幌駅、大通駅、すすきの駅周辺など札幌市内には多数のホテルがありますのでご利用ください。なお、学会が開催される9月15日(日)、16日(月)は連休と重なっており、また、北海道の絶好の観光シーズンでもあります。札幌市内のホテルも繁忙期となっておりますので、どうかお早めにご予約ください。

③ 会場ならびに会場へのアクセス

会場は、北海学園大学豊平キャンパス(札幌市豊平区旭町4-1-40)です。会場へのアクセスは、札幌市営地下鉄東豊線をご利用いただき「学園前」にて下車、3番出口から出ていただければ、大学構内です。札幌駅から約5分、大通駅から約4分、豊水すすきの駅(地下鉄南北線の「すすきの」駅からは直通しませんのでご注意ください)から約3分です。料金は、上記いずれの駅からでも片道200円です。なお、土・日・祝日に利用できる「どにちかきっぷ」(各1日地下鉄乗り放題)は500円です。280円以上の区間を往復するか、1日3回以上地下鉄に乗り降りする予定のある方は、「どにちかきっぷ」の購入がお勧めです。自

学 会 ニ ュ ー ス

動券売機で購入できます。

④ 懇親会

大会初日に予定されている懇親会は、大学内の生協食堂で行います。多数の会員の皆様のご参加を期待しております。詳細については、「開催校からのご案内」でお知らせいたします。

⑤ 昼食

15日、16日両日とも、大学内の生協食堂を利用することができます。大学近くにはレストラン等がほとんどなく、また、日曜日・祝日に営業している店舗はごく少数です。通常営業しない日曜日・祝日に臨時営業をしていただけることとなりました。皆様のご利用をお待ちしております。

⑥ 託児所

託児所は、学会会場には開設いたしません。札幌市中央区など市内に託児施設があります。以下の施設については、申し込み状況により、利用が可能だという返事をいただいています。ご利用される皆様は、各自ご手配をお願いいたします。

☆日・月（祝）

「あんあん保育園」

札幌市中央区南9条西6丁目1-30

安念ビルグランシェ・モア中島公園 2F

011-596-0321

<http://www.anan.ed.jp/>

注1：ご予約一ヶ月前までをお願いします。

注2：料金・キャンセルなどはお問い合わせください。

☆日のみ

「大通り保育園（マミー・ポッケ大通園）」

札幌市中央区南1条西1丁目 松崎ビル4階

011-222-0023

<http://oodori-hoiku.com/>

注1：ご予約一ヶ月前までをお願いします。

注2：日曜祝日の料金は、平日料金の20%増です。

注3：当日キャンセルは食事の準備などございますので、お控えください。

問い合わせ先：佐藤克廣

ksat@wise.hokkai-s-u.ac.jp

Tel: 011-841-1161 (ex. 2388)

Fax: 011-824-7729

北海学園大学法学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40

『年報政治学』 独立論文公募のお知らせ

査読委員会委員長 押村 高

『年報政治学』では論文を公募しています。公募論文は、「特集」テーマに関連した「特集論文」と、特定のテーマにとらわれない「独立論文」の2種類に区分されます。「独立論文」は、特定の締切り期日を設けず受け付けています。ただし編集の都合上、2014年度第I号（2014年6月刊行予定）に掲載を希望される会員は、2013年10月20日までに下記の送付先に原稿をご提出ください。公募論文には査読による審査が行われます。審査

を公正かつ迅速に行うため、正副委員長のほか5名の委員からなる査読委員会が設けられています。査読委員会は、会員の中から査読者を選び、査読結果にもとづいて掲載論文を確定いたします。論文の投稿に関してくわしくは、日本政治学会ホームページに掲載されている「論文投稿規程」および「査読委員会規程」をご覧ください。

なお、二重投稿は規定により禁止されていることを申し添えます。

* 原稿送付先：

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学国際政治経済学部「押村高研究室」内 日本政治学会査読委員会
電子メール：toshimur@sipeb.aoyama.ac.jp

* 投稿規程

独立論文・特集論文ともに学会ホームページ（<http://www.jpsa-web.org/toukou.html>）に掲載されている投稿規程に則り、メールおよび郵送にて上記へ送付して下さい。投稿規程により、未発表でない論文、論文の分量（注、参考文献、図表を含め原則20,000字以内）を超過している論文、また応募時点の年度の会費を納入済みでない会員の論文は受理できませんので、投稿前に必ず規程をご確認ください。分量の計算については、<http://www.jpsa-web.org/bunnryou.html> を併せてご参照ください。

『年報政治学』 2014年度第I号特集論文公募のお知らせ

2014年度第I号年報委員長 西澤 由隆
査読委員会委員長 押村 高

2014年度第I号（2014年6月刊行予定）のテーマを「民意（仮題）」としました。

政治学において民主主義を議論するときに、世論が中心的な概念の1つであることは論を待ちません。そして、世論に関しての議論はこれまでも多くありますが、先行研究が答えていない学術的疑問も残っています。

しかも、2009年衆議院総選挙での本格的な政権交代や、2011年3月の東日本大震災とそれに続く原発事故以来、「民意」の役割に注目が集まり

つつあります。政治学を志す者が、「民意」の意味と機能を再考するよい機会かと思われます。

そこで、このテーマに関連する研究論文の投稿を広く日本政治学会会員から募りたいと思います。多くのみなさんからのご投稿をお待ちします。原稿の締切りは2013年10月20日（消印有効）とします。投稿原稿は学会ホームページ（<http://www.jpsa-web.org/>）に掲載されている投稿規程に則り、メールおよび郵送にて、査読委員会宛にご送付下さい。

『年報政治学』 2014年度第Ⅱ号特集論文公募のお知らせ

2014年度第Ⅱ号年報委員長 吉野 篤
査読委員会委員長 押村 高

2014年度第Ⅱ号（2014年12月刊行予定）のテーマを、「政治学におけるガバナンス論の現在」といたしました。近年、急速に研究領域が拡大し、重要性が高まっていると考えられるものの、必ずしも政治学の世界の中で共通認識が形成されていないように思われるガバナンス論について、理論的分野、実証的分野を含めて、日本政治学会の共有財産となるような積極的・建設的な議論を期待しております。

社会的・一般的には、コーポレート・ガバナ

スとして認知されているかと思われますが、政治学的対象として、ガバナンスそのものの認識・概念整理、理論的分析枠組、実証研究など、多様な分析レベルでの投稿をお願いいたします。原稿の締切は2014年3月20日（消印有効）とします。

投稿原稿は学会ホームページ (<http://www.jpasa-web.org/>) に掲載されている投稿規程に則り、メールおよび郵送にて、査読委員会宛に御送付下さい。

英文雑誌論文公募のお知らせ

英文雑誌編集委員会委員長 三浦まり

日本政治学会の英文雑誌第2号は、“Grassroots Participation: Would It Revive Democracy?” を特集テーマとし、2014年8月に刊行の予定です。以下の要領で、特集論文と独立論文の2つのカテゴリで会員からの論文を公募いたしますので、奮ってご応募ください。

1. 応募資格

日本政治学会の会員であり、応募の時点で当該年度の会費を納入済みの方。

2. 既発表論文投稿の禁止

応募できる論文は未発表のものに限ります。

3. 二重投稿の禁止

同一の論文を本英文雑誌以外に同時に投稿することはできません。

4. 論文の分量

8,000 words 以内（注、参考文献、図表を含む）とします。図表は、刷り上がり1ページを占める場合には360 words、半ページの場合には180 words と換算して下さい。

5. 論文の主題

【特集論文の場合】

特集の趣旨に沿った主題の論文を受けつけます。

趣旨：地方政治、国政、さらには国際政治においても、上からの統治が分断し対立する社会の抱える問題に答えを出しきれないでいる。また、周縁化され、不可視化された分断から生じる問題は置き去りのままにされている。こうした政治の現状を補完するものとして、草の根での市民の活動がさまざまな領域で湧き起ってきているが、草の根の市民参画は民主主義を再生させるものであるのだろうか。本特集では、市民参画が旧来からの手法のみでなく、新しい手法をも取り入れながら、代表の選び方を含めて政治過程への働きかけをおこなっている状況に光を当て、現状分析と課題の追求をおこなっていききたい。

【独立論文の場合】

政治学に関わる主題であれば、特に限定しません。

6. 応募の締切

特集論文、独立論文のいずれの場合も、2013年8月末日。

7. 論文の形式

- 図表は本文中に埋め込まず、別の電子ファイルに入れ、本文中には図表が入る位置を示して下さい。図表の大きさ（1ページを占めるのか半ページを占めるのか等）も明記して下さい。また、他から図表を転用する際には、必ず出典を各図表の箇所に明記して下さい。
- 図表はスキャン可能なファイルで提出してください。出版社に作成を依頼する場合には、執筆者に実費を負担していただきます。
- 投稿論文には、審査の公平を期すために執筆者の名前は一切記入せず、著者が識別されるような表現は控えて下さい。

8. 投稿の方法

- 特集論文、独立論文のいずれの投稿も、問い合わせならびに原稿送付先は英文雑誌編集委員会となります。
- 論文の投稿は、ワード形式で電子ファイルに保存し、下記の電子メールアドレス宛てに、メールの添付ファイルとして送信して下さい。投稿メールの件名（Subject）には、「英文雑誌投稿論文の送付」と記入し、【特集論文】か【独立論文】かの別を明記して下さい。
- なお、別紙の投稿申込書（特集論文／独立論文）に記入の上、投稿論文と共にメールに添付して送付して下さい。
- 送付された投稿論文等は執筆者に返却致しません。

9. 投稿論文の受理

投稿論文としての要件を満たした執筆者に対し

ては、英文雑誌編集委員会より、投稿論文を受理した旨の連絡を電子メールで行います。メールでの送受信に伴う事故を避けるため、論文送付後10日以内に連絡が来ない場合には、投稿された方は英文雑誌編集委員会に問い合わせして下さい。

10. 査読

特集論文は英文雑誌編集委員会のもとで、独立論文は査読委員会のもとで、それぞれ査読をおこない、採否を申請者宛にご連絡します。それぞれの委員会からの指示に従ってください。

11. 著作権

- 本英文雑誌が掲載する論文の著作権は日本政治学会に帰属します。掲載論文の執筆者が当該論文の転載を行う場合には、必ず事前に文書で本学会事務局と出版社にご連絡下さい。また、当該英文雑誌刊行後1年以内に刊行される出版物への転載はご遠慮下さい。
- また、投稿論文の執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損の問題を生じないように十分に配慮して下さい。他者の著作物を引用するときは、必ず出典を明記して下さい。
- なお、万一、本英文雑誌に掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められる場合、執筆者がその一切の責任を負うものとします。

12. その他留意点

- 英語の校閲は、執筆者の責任で投稿前に行ってください。
- 執筆者の校正は初校のみです。初校段階で大幅な修正・加筆をすることは認められません。
- 詳細な投稿規定はHPに掲載されているSubmission Guidelinesをご参照ください。

原稿送付先：

日本政治学会英文雑誌編集委員会委員長

三浦まり miura-m@sophia.ac.jp

2012年度日本政治学会第4回理事会議事録

日時：2012年12月15日(土) 17時00分～18時40分

場所：京都大学 東京オフィス

(東京都港区港南2-15-1 品川インターシ
ティ A棟27階)

議題

〈審議事項〉

1. 入会希望者審査

12名の入会申請があり、審議のうえ承認された(敬称略)。

一般会員 (8名)

西田和憲、森脇喜一、鶴岡正寛、中山賢司、柄谷
利恵子、宮田智之、仁井田崇、捧堅二

学生会員 (4名)

里吉弘治、韓印洙、金子隆二郎、澤田泰子

前回理事会時の会員数1,779名、この間の退会者2名(申し出による退会2名)であり、今回の入会承認者12名を加えた結果、現在会員数は1,789名となった。

2. 選挙管理委員会について

戸田真紀子理事(京都女子大学)に依頼し内諾を得たことが報告され、5名の委員案とあわせて承認された。戸田委員長以下、手塚洋輔(京都女子大学)、松田哲(京都学園大学)、高原秀介(京都産業大学)、柄谷利恵子(関西大学)の各氏。

3. 前理事会からの引継ぎ事項について

杉田顧問(前理事長)からの引継ぎ事項①法人化、②研究会総会開催場所、③他の政治学関係の学会との関係、の3点が紹介された。

種々議論のうえ、①法人化については作業量が膨大であるが、課税されるというリスクも無視できないことから引き続き情報収集につとめること、②開催場所についてはコンベンションホールでの開催は開催地域の偏在を生み、また割高であるため困難であること、③他学会との関係では、

選考理事の枠を使って各学会に推薦を求める方法は問題が多く困難であり、理事監事選出規定における留意事項「地域、年齢、専攻、学会運営上の必要等」の文言にもとづいて、専攻を留意した選考が行われるような方法を次回理事会で検討すること、が了解された。

〈報告事項〉

1. 各種委員会報告

出席の委員長(齋藤、遠藤(誠治)、小西、名取、吉野、池谷、白鳥、西川、押村、酒井、大西、城山、大津留各理事)からそれぞれの委員会の現時点における活動状況が報告された。

また英文雑誌編集委員会・大津留(北川)委員長より、委員会の構成について、報告がなされた。大津留(北川)委員長以下、芦立秀朗(京都産業大学)、伊藤武(専修大学)、三浦まり(上智大学)の各氏。

2. 研究大会開催校について

2013年北海学園大学(開催日程 9月15、16日)、2014年早稲田大学、2015年東京圏、2016年関西圏が確認された。

また齋藤開催校理事から2014年度研究大会について日程決定の要請があり、2014年10月11日(土)、12日(日)と決定された。

3. 事務局報告

11月17日京都大学にて前事務局との引継ぎがあり、12月17日に法政大学にて委託業者、新委託業者、新旧事務局で事務委託契約締結に向けた打ち合わせが行われることが報告された。

委託していた業者の活動停止に伴い、新しく委託先を選定し、来年度末に移転、引継ぎを行うこととなり、その経過などについて中野前常務理事から説明があった。

4. 次回理事会の開催

以下の開催予定が報告された。

日時：2013年3月16日(土) 14時～

場所：京都大学公共政策大学院 第2RPG室
(京都市左京区吉田本町 京大本部構内)

以上

2012年度日本政治学会第5回理事会議事録

日時：2013年3月16日(土)14時00分～15時45分
場所：京都大学公共政策大学院第2RPG室
(京都市左京区吉田本町 京大本部構内)

議題

〈審議事項〉

1. 入退会の承認

15名の入会申請があり、審議のうえ新・再入会員として承認した(敬称略)。

一般会員(9名)

河本和子、西宮元、三輪洋文、伊賀司、六辻彰二、野添文彬、三浦瑠麗、小野百合子、田中智彦

学生会員(6名)

井之口智亮、田畑真一、山本章子、鈴木将類、平井紳也、佐藤祐子

前回理事会時の会員数1,789名、この間の退会者3名(申し出による退会3名)であり、今回の入会承認者15名を加えた結果、現在会員数は1,801名となった。

2. 2012年度決算案及び2013年度予算案について

① 2012年度決算案

秋月常務理事から一般会計・名簿作成積立金・国際交流基金のそれぞれにつき2012年度決算案が説明された。ついで岡本監事より監査報告があり、2012年度決算案が承認された(なお、西崎監事は所用のために午前中の監査業務の後、監査報告を岡本監事に委任の上、中座)。

② 2013年度予算

秋月常務理事から一般会計・名簿作成積立金・国際交流基金のそれぞれにつき2013年度予算案

が説明された。審議のうえ予算案は承認された。

3. 前理事会からの引継ぎ事項「他学会との連携」について

前回の理事会での決定「他学会との関係では、選考理事の枠を使って各学会に推薦を求める方法は問題が多く困難であり、理事監事選出規定における留意事項『地域、年齢、専攻、学会運営上の必要等』の文言にもとづいて、専攻を留意した選考が行われるような方法を次回理事会で検討すること、が了解された。」に基づいて審議のうえ、以下の対応を行うことが承認された。

- ① 今年の理事選考委員会に理事長が陪席するおり、理事・監事選出規定の8条2を読み上げ、杉田理事会からの申し送りの趣旨を踏まえて、留意事項のうち「専攻」について従来も留意していただいたところであるが、いっそうの留意をお願いする。
- ② 杉田前理事長の文書「他学会との連携について」をその際に配布する。

4. その他

英文雑誌編集委員長・理事の交代

大津留委員長から一身上の理由で辞任したい旨の申し出をうけ、これを承認した。後任として、現在委員である三浦まり会員が新委員長となることが承認された。これに関連して、①委員の補充として粕谷祐子会員が承認された。②三浦新委員長には理事会に出席して報告する用務が多く、一方選考理事の定員が15名と定められているため、選考理事として大津留理事と三浦新委員長を交代する案が承認された。なお三浦新理事の任期は大津留理事の残存任期となる。

〈報告事項〉

1. 各種委員会報告

① 2013年度企画委員会

小西委員長より、研究大会の応募・企画状況について、現時点で、共通論題：1、分科会については公募企画：11、国際交流委員会企画：4、研究交流委員会企画：7、企画委員会企画：3、自由論題・公募論題：4～5（24本）の計29～30セッションを予定していること、ポスターセッションは10件応募が来ていることが、報告された。

② 2014年度企画委員会

名取委員長より、現時点における活動状況が報告された。

③ 年報2013-I編集委員会

齋藤委員長より、原稿の入稿状況について報告がなされた。

④ 年報2014-I編集委員会

西澤委員長より、現時点における活動状況が報告された。

⑤ 年報2014-II編集委員会

吉野委員長より、現時点における活動状況が報告された。

⑥ 年報2015-I編集委員会

小川委員長より、委員会の構成について報告がなされた。小川委員長以下、井上弘貴（神戸大学）、粕谷祐子（慶應義塾大学）、河野勝（早稲田大学）、塩川伸明（東京大学）、芝崎厚士（駒澤大学）、空井護（北海道大学）、田村哲樹（名古屋大学）、稗田健志（大阪市立大学）の各氏。特集テーマは「政治理論と実証研究の対話」を予定していることが報告された。

⑦ 年報2015-II編集委員会

池谷委員長より、現時点における活動状況が報告された。

⑧ 2013年文献委員会

白鳥委員長（真淵理事長代読）より、現時点に

おける活動状況が報告された。

⑨ 2014年文献委員会

西川委員長より、委員会の構成について報告がなされた。西川委員長以下、政治学・政治理論：施光恒（九州大学）、日本政治・政治過程：武蔵勝宏（同志社大学）、行政学・地方自治：小原隆治（早稲田大学）、政治思想（日本・アジア）：大久保健晴（明治大学）、政治思想（欧米）：芝田秀幹（沖縄国際大学）、政治史（日本）：小宮京（桃山学院大学）、政治史・比較政治（西欧・北欧）：木下淑恵（東北学院大学）、政治史・比較政治（北米）：浅野一弘（札幌大学）、政治史・比較政治（中南米）：出岡直也（慶應義塾大学）、政治史・比較政治（ロシア・東欧）：橋本信子（大阪商業大学）、政治史・比較政治（アジア）：川中豪（日本貿易振興機構 アジア経済研究所）、政治史・比較政治（アフリカ）：佐藤章（日本貿易振興機構 アジア経済研究所）、国際政治・外交：岩間陽子（政策研究大学院大学）の各氏。

⑩ 2013年書評委員会

吉野委員長より、原稿の入稿状況について報告がなされた。

⑪ 2014年書評委員会

辻中委員長より、現時点における活動状況が報告された。

⑫ 2015年書評委員会

酒井委員長より、現時点における活動状況が報告された。

⑬ 査読委員会

押村委員長より、年報政治学2013-I号には、特集論文4本、独立論文16本の応募があり、特集論文1本、独立論文8本の計9本の掲載が決まったことが報告された。

⑭ 研究交流委員会

大西委員長（真淵理事長代読）より、以下の報告がなされた。

1) 分野別研究会への新規募集について

1件の申請応募があり、委員会で承認した。研究会名：ミクロ政治経済行動研究会。責任者：猪口孝。

この申請について、理事会で検討の結果、これを承認した。

2) 分野別研究会の責任者の交代について

2009年1月、2011年1月に承認した分野別研究会の責任者について、それぞれ1つの分野別研究会から下記の通り届け出があった。

① 政治学方法論研究会

旧責任者 山田真裕→新責任者 池田謙一
(変更)

② 政策・制度研究会

旧責任者 宮脇健→新責任者 宮脇健(重任)

3) 2013年度研究大会への分科会設置申請について

7件の公募があり、すべて承認し、企画委員会へ送付した。その後、企画委員会にて承認された。

真淵理事長より、分野別研究会の一覧をホームページに掲載するという提案がなされ、理事会で承認された。

⑮ 国際交流委員会

城山委員長(真淵理事長代読)より、以下の報告がなされた。

1) 2013年総会・研究会におけるセッションの設定

小西企画委員長、関係国際交流小委員長と協議し、3月末までに確定する方向で調整中であることが報告された。

2) 2013年における派遣計画

現時点での進行状況について報告がなされた。

⑯ 選挙管理委員会

戸田委員長より、選挙日程が報告された。真淵

理事長からは、来年度は研究大会が9月になり、第2回理事会も9月に開催されることから、選挙日程が前倒しになること、また、次期理事長候補者選考委員会と次期理事選考委員会も1カ月ほど前倒しになることが説明された。

2. 2013年度年次大会について

佐藤克廣開催校理事より、説明がなされた。

3. 研究大会開催校について

2013年度北海学園大学(9月15,16日)、2014年度早稲田大学(10月11,12日)が確認された。

2015年(東京圏開催)について、千葉大学が3月末までに正式回答することが報告された。

2016年(非東京圏開催)について、立命館大学が開催を受諾したことが報告された。

4. 事務センター移転について

秋月常務理事から、従来の事務委託先であるACネット社が今月をもって活動停止となり、それをうけて新たな委託先となった国際文献社が現在理科系団体を中心に13法人、48団体を委託先する大手であること、委託費については若干増えるが、事務内容として新しく会計処理、会計・監査支援や選挙関係の事務の一部が含まれ、実質的にはほぼ同額でよりよいサービス提供がなされることが報告された。

5. 次回理事会の開催について

以下の開催予定が報告された。

日時：2013年6月8日(土) 17時～

場所：京都大学 東京オフィス

(〒108-6027 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟27階)

以上

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 平成24年度決算(案)

日本政治学会 平成24年度収支計算書(会計別)

平成24年3月1日から平成25年2月28日まで

(一般会計)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 備 考 |
|-----------------------------|------------|------------|-----------|-----|
| 【経常収入の部】 | | | | |
| I 会費収入 | 11,048,000 | 10,914,210 | △133,790 | |
| II 雑収入 | 1,000 | 136,151 | 135,151 | |
| 経常収入合計(A) | 11,049,000 | 11,050,361 | 1,361 | |
| 【経常支出の部】 | | | | |
| I 事業費 | 6,770,000 | 6,261,916 | △508,084 | |
| 1 研究会開催費 | 1,300,000 | 1,160,385 | △139,615 | |
| 研究会準備金 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 大会プログラム集作成費 | 650,000 | 560,385 | △89,615 | |
| 報告者礼金 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 2 委員会経費 | 620,000 | 138,337 | △481,663 | |
| 年報委員会 | 200,000 | 56,900 | △143,100 | |
| 査読委員会 | 70,000 | 0 | △70,000 | |
| 企画委員会 | 70,000 | 0 | △70,000 | |
| 研究交流委員会 | 70,000 | 0 | △70,000 | |
| 文献委員会 | 140,000 | 66,737 | △73,263 | |
| 書評委員会 | 70,000 | 14,700 | △55,300 | |
| 選挙管理委員会 | 0 | 0 | 0 | |
| 3 印刷費 | 4,850,000 | 4,963,194 | 113,194 | |
| 会報印刷費 | 400,000 | 349,650 | △50,350 | |
| 年報印刷費 | 4,450,000 | 4,613,544 | 163,544 | |
| 4 選挙管理費 | 0 | 0 | 0 | |
| II 管理費 | 3,250,000 | 2,910,955 | △339,045 | |
| 1 理事会経費 | 40,000 | 31,136 | △8,864 | |
| 2 事務局経費 | 440,000 | 51,109 | △388,891 | |
| 運営費 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 人件費 | 40,000 | 0 | △40,000 | |
| 経常費 | 100,000 | 51,109 | △48,891 | |
| 慶弔費 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 事務局移転費 | 200,000 | 0 | △200,000 | |
| 3 CANPAN ACNet 業務委託費 | 2,770,000 | 2,828,710 | 58,710 | |
| 基本業務委託費 | 2,700,000 | 2,828,710 | 128,710 | |
| J-STAGE | 60,000 | 0 | △60,000 | |
| ホームページ | 10,000 | 0 | △10,000 | |
| 法人格取得費 | 0 | 0 | 0 | |
| 4 前年度会計監査料 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常支出合計(B) | 10,020,000 | 9,172,871 | △847,129 | |
| 経常収支差額(C) = (A) - (B) | 1,029,000 | 1,877,490 | 848,490 | |
| 【その他資金収入の部】 | | | | |
| その他資金収入合計(D) | 0 | 0 | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | | | |
| I 名簿作成積立金 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| II 予備費 | 1,000,000 | 235,751 | △764,249 | |
| その他資金支出合計(E) | 1,200,000 | 435,751 | △764,249 | |
| 当期収支差額(F) = (C) + (D) - (E) | △171,000 | 1,441,739 | 1,612,739 | |
| 前期繰越収支差額(G) | 15,879,176 | 15,879,176 | 0 | |
| 次期繰越収支差額(H) = (F) + (G) | 15,708,176 | 17,320,915 | 1,612,739 | |

学 会 ニ ュ ー ス

(名簿作成積立金)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 備 考 |
|------------------------------|----------|----------|---------|-----|
| 【経常収入の部】 | | | | |
| I 本年度積立金 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| II 受取利息 | 0 | 120 | 120 | |
| 経常収入合計 (A) | 200,000 | 200,120 | 120 | |
| 【経常支出の部】 | | | | |
| I 事業費 | 650,000 | 717,040 | 67,040 | |
| 1 名簿作成費 | 650,000 | 717,040 | 67,040 | |
| 2 事前調査費 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常支出合計 (B) | 650,000 | 717,040 | 67,040 | |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | △450,000 | △516,920 | △66,920 | |
| 【その他資金収入の部】 | | | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | 0 | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | | | |
| その他資金支出合計 (E) | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | △450,000 | △516,920 | △66,920 | |
| 前期繰越収支差額 (G) | 929,709 | 929,709 | 0 | |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 479,709 | 412,789 | △66,920 | |

(国際交流基金)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 備 考 |
|------------------------------|------------|------------|-----------|-----|
| 【経常収入の部】 | | | | |
| I 本年度積立金 | 0 | 0 | 0 | |
| II 受取利息 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常収入合計 (A) | 0 | 0 | 0 | |
| 【経常支出の部】 | | | | |
| I 事業費 | 6,055,000 | 5,348,183 | △706,817 | |
| 1 国際交流プログラム助成費 | 1,800,000 | 1,357,164 | △442,836 | |
| 2 企画委員会国際交流セッション | 35,000 | 0 | △35,000 | |
| 3 国際交流委員会経費 | 70,000 | 0 | △70,000 | |
| 4 IPSA 分担金 | 400,000 | 351,358 | △48,642 | |
| 5 IPSA 執行委員渡航費補助 | 450,000 | 440,250 | △9,750 | |
| 6 大会開催校補助 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 7 国際シンポジウム開催費 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 8 英文雑誌編集委員会経費 | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| 9 英文雑誌作成費 | 2,500,000 | 2,399,411 | △100,589 | |
| 経常支出合計 (B) | 6,055,000 | 5,348,183 | △706,817 | |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | △6,055,000 | △5,348,183 | 706,817 | |
| 【その他資金収入の部】 | | | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | 0 | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | | | |
| I 予備費 | 1,000,000 | 6,300 | △993,700 | |
| その他資金支出合計 (E) | 1,000,000 | 6,300 | △993,700 | |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | △7,055,000 | △5,354,483 | 1,700,517 | |
| 前期繰越収支差額 (G) | 12,276,082 | 12,276,082 | 0 | |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 5,221,082 | 6,921,599 | 1,700,517 | |

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 平成24年度収支計算書（総括）

平成24年3月1日から平成25年2月28日まで

（単位：円）

| 科 目 | 一般会計 | 名簿作成積立金 | 国際交流基金 | 合 計 |
|------------------------------|------------|----------|------------|------------|
| 【経常収入の部】 | | | | |
| I 会費収入 | 10,914,210 | | | 10,914,210 |
| II 雑収入 | 136,151 | 120 | | 136,271 |
| III 本年度積立金 | | 200,000 | | 200,000 |
| 経常収入合計 (A) | 11,050,361 | 200,120 | 0 | 11,250,481 |
| 【経常支出の部】 | | | | |
| I 事業費 | 6,261,916 | 717,040 | 5,348,183 | 12,327,139 |
| 1 研究会開催費 | 1,160,385 | | | 1,160,385 |
| 研究会準備金 | 600,000 | | | 600,000 |
| 大会プログラム集作成費 | 560,385 | | | 560,385 |
| 報告者礼金 | | | | 0 |
| 2 委員会経費 | 138,337 | | | 138,337 |
| 年報委員会 | 56,900 | | | 56,900 |
| 査読委員会 | 0 | | | 0 |
| 企画委員会 | 0 | | | 0 |
| 研究交流委員会 | 0 | | | 0 |
| 文献委員会 | 66,737 | | | 66,737 |
| 書評委員会 | 14,700 | | | 14,700 |
| 選挙管理委員会 | 0 | | | 0 |
| 3 印刷費 | 4,963,194 | | | 4,963,194 |
| 会報印刷費 | 349,650 | | | 349,650 |
| 年報印刷費 | 4,613,544 | | | 4,613,544 |
| 4 選挙管理費 | 0 | | | 0 |
| 5 名簿作成事業費 | | 717,040 | | 717,040 |
| 名簿作成費 | | 717,040 | | 717,040 |
| 事前調査費 | | 0 | | 0 |
| 6 国際交流基金事業費 | | | 5,348,183 | 5,348,183 |
| 国際交流プログラム助成費 | | | 1,357,164 | 1,357,164 |
| 企画委員会国際交流セッション | | | 0 | 0 |
| 国際交流委員会経費 | | | 0 | 0 |
| IPSA 分担金 | | | 351,358 | 351,358 |
| IPSA 執行委員渡航費補助 | | | 440,250 | 440,250 |
| 大会開催校補助 | | | 100,000 | 100,000 |
| 国際シンポジウム開催費 | | | 300,000 | 300,000 |
| 英文雑誌編集委員会経費 | | | 400,000 | 400,000 |
| 英文雑誌作成費 | | | 2,399,411 | 2,399,411 |
| II 管理費 | 2,910,955 | | | 2,910,955 |
| 1 理事会経費 | 31,136 | | | 31,136 |
| 2 事務局経費 | 51,109 | | | 51,109 |
| 運営費 | 0 | | | 0 |
| 人件費 | 0 | | | 0 |
| 経常費 | 51,109 | | | 51,109 |
| 慶弔費 | 0 | | | 0 |
| 事務局移転費 | 0 | | | 0 |
| 3 CANPAN ACNet 業務委託費 | 2,828,710 | | | 2,828,710 |
| 基本業務委託費 | 2,828,710 | | | 2,828,710 |
| J-STAGE | 0 | | | 0 |
| ホームページ | 0 | | | 0 |
| 法人格取得費 | 0 | | | 0 |
| 4 前年度会計監査料 | 0 | | | 0 |
| 経常支出合計 (B) | 9,172,871 | 717,040 | 5,348,183 | 15,238,094 |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | 1,877,490 | △516,920 | △5,348,183 | △3,987,613 |
| 【その他資金収入の部】 | | | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【その他資金支出の部】 | | | | |
| I 名簿作成積立金 | 200,000 | | | 200,000 |
| II 予備費 | 235,751 | | 6,300 | 242,051 |
| その他資金支出合計 (E) | 435,751 | 0 | 6,300 | 442,051 |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | 1,441,739 | △516,920 | △5,354,483 | △4,429,664 |
| 前期繰越収支差額 (G) | 15,879,176 | 929,709 | 12,276,082 | 29,084,967 |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 17,320,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,655,303 |

学 会 ニ ュ ー ス

貸借対照表総括表

平成25年2月28日現在

(単位：円)

| 科 目 | 一般会計 | 名簿作成積立金 | 国際交流基金 | 合計 |
|-----------------|------------|----------|------------|------------|
| 【資産の部】 | | | | |
| 流動資産 | | | | |
| 現金預金 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 現金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 振替貯金 | 13,138,529 | 0 | 0 | 13,138,529 |
| 普通預金 | 4,332,386 | 412,789 | 6,921,599 | 11,666,774 |
| 流動資産合計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 固定資産 | | | | |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 資 産 合 計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 【負債の部】 | | | | |
| 流動負債 | | | | |
| 前受金 次年度分会費払い込み | 150,000 | | | 150,000 |
| 流動負債合計 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 固定負債 | | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 負 債 合 計 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 【正味財産の部】 | | | | |
| 前期繰越正味財産 | 15,879,176 | 929,709 | 12,276,082 | 29,084,967 |
| 当期正味財産増加額(減少額) | 1,441,739 | △516,920 | △5,354,483 | △4,429,664 |
| 正味財産合計 | 17,320,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,655,303 |
| 負債・正味財産合計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |

財 産 目 録

平成25年2月28日現在

(単位：円)

| 科 目 | 一般会計 | 名簿作成積立金 | 国際交流基金 | 合計 |
|-----------------|------------|----------|------------|------------|
| 【資産の部】 | | | | |
| 流動資産 | | | | |
| 現金預金 手許有高 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 振替貯金 ゆうちょ銀行019店 | 13,138,529 | | | 13,138,529 |
| 普通預金 ゆうちょ銀行448店 | 4,332,386 | | | 4,332,386 |
| 三菱東京UFJ銀行神保町支店 | | 412,789 | | 412,789 |
| 三菱東京UFJ銀行神保町支店 | | | 6,921,599 | 6,921,599 |
| 流動資産合計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 固定資産 | | | | |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 資 産 合 計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |
| 【負債の部】 | | | | |
| 流動負債 | | | | |
| 前受金 次年度分会費払い込み | 150,000 | | | 150,000 |
| 流動負債合計 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 固定負債 | | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 負 債 合 計 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 【正味財産の部】 | | | | |
| 前期繰越正味財産 | 15,879,176 | 929,709 | 12,276,082 | 29,084,967 |
| 当期正味財産増加額(減少額) | 1,441,739 | △516,920 | △5,354,483 | △4,429,664 |
| 正味財産合計 | 17,320,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,655,303 |
| 負債・正味財産合計 | 17,470,915 | 412,789 | 6,921,599 | 24,805,303 |

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 平成25年度予算(案)

(一般会計)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 備考 |
|------------------------------|------------|----|
| 【経常収入の部】 | | |
| Ⅰ 会費収入 | 10,914,000 | |
| Ⅱ 雑収入 | 135,000 | |
| 経常収入合計 (A) | 11,049,000 | |
| 【経常支出の部】 | | |
| Ⅰ 事業費 | 6,820,000 | |
| 1 研究会開催費 | 1,300,000 | |
| 研究会準備金 | 600,000 | |
| 大会プログラム集作成費 | 650,000 | |
| 報告者礼金 | 50,000 | |
| 2 委員会経費 | 670,000 | |
| 年報委員会 | 200,000 | |
| 査読委員会 | 70,000 | |
| 企画委員会 | 70,000 | |
| 研究交流委員会 | 70,000 | |
| 文献委員会 | 140,000 | |
| 書評委員会 | 70,000 | |
| 選挙管理委員会 | 50,000 | |
| 3 印刷費 | 4,850,000 | |
| 会報印刷費 | 400,000 | |
| 年報印刷費 | 4,450,000 | |
| 4 選挙管理費 | 0 | |
| Ⅱ 管理費 | 3,480,000 | |
| 1 理事会経費 | 40,000 | |
| 2 事務局経費 | 240,000 | |
| 運営費 | 50,000 | |
| 人件費 | 40,000 | |
| 経常費 | 100,000 | |
| 慶弔費 | 50,000 | |
| 事務局移転費 | 0 | |
| 3 国際文献社業務委託費 | 3,200,000 | |
| 基本業務委託費 | 3,200,000 | |
| J-STAGE | 0 | |
| ホームページ | 0 | |
| 法人格取得費 | 0 | |
| 経常支出合計 (B) | 10,300,000 | |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | 749,000 | |
| 【その他資金収入の部】 | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | |
| Ⅰ 名簿作成積立金 | 200,000 | |
| Ⅱ 国際交流基金積立金 | 300,000 | |
| Ⅲ 予備費 | 1,000,000 | |
| その他資金支出合計 (E) | 1,500,000 | |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | △751,000 | |
| 前期繰越収支差額 (G) | 17,320,915 | |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 16,569,915 | |

学 会 ニ ュ ー ス

(名簿作成積立金)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 備考 |
|------------------------------|---------|-----------|
| 【経常収入の部】 | | |
| I 本年度積立金 | 200,000 | 一般会計からの繰入 |
| II 受取利息 | 0 | |
| 経常収入合計 (A) | 200,000 | |
| 【経常支出の部】 | | |
| I 事業費 | 0 | |
| 1 名簿作成費 | 0 | |
| 2 事前調査費 | 0 | |
| 経常支出合計 (B) | 0 | |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | 200,000 | |
| 【その他資金収入の部】 | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | |
| その他資金支出合計 (E) | 0 | |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | 200,000 | |
| 前期繰越収支差額 (G) | 412,789 | |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 612,789 | |

(国際交流基金)

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 備考 |
|------------------------------|------------|-----------|
| 【経常収入の部】 | | |
| I 本年度積立金 | 300,000 | 一般会計からの繰入 |
| II 受取利息 | 0 | |
| 経常収入合計 (A) | 300,000 | |
| 【経常支出の部】 | | |
| I 事業費 | 3,005,000 | |
| 1 国際交流プログラム助成費 | 1,100,000 | |
| 2 企画委員会国際交流セッション | 35,000 | |
| 3 国際交流委員会経費 | 70,000 | |
| 4 IPSA 分担金 | 400,000 | |
| 5 IPSA 執行委員渡航費補助 | 900,000 | |
| 6 大会開催校補助 | 100,000 | |
| 7 国際シンポジウム開催費 | 300,000 | |
| 8 英文雑誌編集委員会経費 | 100,000 | |
| 9 英文雑誌作成費 | 0 | |
| 経常支出合計 (B) | 3,005,000 | |
| 経常収支差額 (C) = (A) - (B) | △2,705,000 | |
| 【その他資金収入の部】 | | |
| その他資金収入合計 (D) | 0 | |
| 【その他資金支出の部】 | | |
| I 予備費 | 1,000,000 | |
| その他資金支出合計 (E) | 1,000,000 | |
| 当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E) | △3,705,000 | |
| 前期繰越収支差額 (G) | 6,921,599 | |
| 次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G) | 3,216,599 | |

事務局より

会費納入についてのお願い

年会費をまだ納入されていない方が若干おられます。何とぞ速やかにご協力のほど、お願いいたします。一般会員は7,500円、学生会員は5,000円です。また、シニア会員（会費5,000円）および終身会員（一時金30,000円又は20,000円）の制度がございますので、ぜひご利用下さい。郵便振替により、以下の口座番号、加入者名あてに納入をお願いいたします。

口座番号：00120-2-500664

加入者名：日本政治学会

なお、2013年度末までに2013年度および2012年度の会費を納入されなかった会員の方は、「日本政治学会規約」第8条に基づき、自動的に退会扱いとなりますので、ご注意下さい。会費の納入状況につきましてご不明な点は、国際文献社までお問い合わせ下さい。

訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

- 安藤次男氏 立命館大学名誉教授 アメリカ政治史、国際政治史 1944年生
河上民雄氏 日本政治史、アメリカ政治史 1925年生
清末尊大氏 北海道教育大学名誉教授 西欧政治思想史 1946年生

本号の目次

1. 日本政治学会2013年度研究大会について…………… 1
2. 2013年度研究大会プログラム…………… 2
3. 研究大会報告論文の公開・入手方法について…………… 8
4. 研究大会開催校（北海学園大学）からのお知らせ…………… 8
5. 論文公募のお知らせ…………… 10
6. 理事会議事録…………… 13
7. 平成24年度決算（案）…………… 17
8. 平成25年度予算（案）…………… 21
9. 事務局より…………… 23

2013年6月15日発行

発行 日本政治学会事務局

秋 月 謙 吾

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学法学研究科 日本政治学会事務局
FAX: 075-753-3290
E-mail: jpsa@law.kyoto-u.ac.jp
<http://www.jpsa-web.org/>

(株)国際文献社

日本政治学会担当（住所変更・会費）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5
Phone: 03-5937-0317
FAX: 03-3368-2822
E-mail: jpsa-post@bunken.co.jp

印 刷 (株)国際文献社